



# てぶら天神

## 1.はじめに

私が福岡に来て、はや 5 年が過ぎようとしています。ようやく福岡という町にも慣れ、特に中心部である天神については買い物などの利用からいろいろ分かるようになってきました。それでも、まだ知らないことは多く、今後も探索しながら天神を楽しんで行きたいと思います。

しかし、この天神という町は私でもまだ知らないことが多いように、利用する人にとってもまだまだ未開の地ではないでしょうか？周辺に住む人々だけでなく、休日に遠方から来る周辺市町の人やさらに遠方から観光に来る人にとってはなおさら分からないことだらけの場所かもしれません。

実際、以前私も妹に買い物で天神に来てみたらと打診したことがありました。すると、何があるか分からないからとの理由で拒まれてしまいました。と同時に以前私が天神に来たときも何をしていたか分からず、とりわけ何もしなかった事を思い出しました。

このように、都心の中心部とは経済や文化の中心でありながら、いや中心であるがゆえに様々なものが集積しすぎて、利用する人にとっては意外と不便な所になっているのではないのでしょうか。また、今後増加する高齢者の方々や近年多く見られる諸外国の方も考慮すると、利用のされ方が重要となってくると思われます。

## 2. もっと天神を

多くの方に天神をもっと利用されるためには、来訪者にとって施設を探しながら回遊してもらうのではなく、施設を案内して歩いてもらうことで、都市を身近に感じてもらうことが重要ではないかと考えます。一度、精神的な壁(何があるが分からない)を取り除くことで、次回どこに行こうかという積極的な回遊を促せるのと思います。

そこで、来訪者には『目的』だけを持って、天神を気軽に楽しんでもらうことを提案します。てぶらで来て大丈夫なまちづくりを目指します。

## 3. 利用活性化計画

もっと多くの人に、もっと気軽に、天神を利用してもらうため以下の提案をします。

### 天神いろは

現在、中心部の案内所が市役所や地下鉄入り口、各デパート等にあるが、主に観光地の案内所に留まっている。そこで、既設の案内所を天神へ訪れた人の最初の案内所として整備します案内する内容は、これまでと同様に主要な施設と同時に天神内の各地区の雰囲気など、概要を案内します。

### さてん(サテライト天神)計画

都市の中心部は様々な施設の密集から全てを把握するのは不可能に近く、情報を的確に伝える手段は少ないと思います。一方で情報の量が増大すると、選択肢が多く、混乱を招く可能性があります。

そこで、『天神』を天神区、大名 1 丁目、大名 2 丁目、今泉、警固に分け、各地区における情報発信基地を設置します。これを **さてん(サテライト天神)** とします。

ここでは、今からの散策へ向けた休憩施設を含め、各地区に密着した情報を提供します。さらに、地域を訪れた人から目的に応じた情報を提供できる人材を地区の**マスター**として育成します。そして、来訪者が探すのではなく、探してもらうことで精神的不安を低減し、地域へのイメージ向上を図ります。

### 各地区への道がいど

さてんの設置に当たり、主要な交通拠点からの案内を明確にします。特にこれまで多かった標識による案内だけでなく道そのものへの工夫が必要であると思います。景観面への配慮から標識や路面への案内だけでなく、光によるガイドを行い、昼夜問わずわかりやすい道のりを計画します。

### ご近所お助けシステム

情報を基に様々な施設へ行くと必ずしも目的を果たすことができないことがあります。そこで、同業者による互助コミュニティの構築を提案します。もし、ある店に行つて欲しいものが見つからない時、店の人により同業者を案内することで、来訪者に対して少しでも協力できるような体制を造ります。これにより、業者としても来訪者を案内するだけでなく、同業者に案内されることにより、地区全体としての活性化を図ります。



## 4. おわりに

私は福岡に来て、中心部まで近く、中心部の規模もちょうどよく住みやすい町であると感じました。だからこそもっと多くの人に福岡の中心である天神を利用してもらいたいと思います。